

岡崎市議会議員 様

支出番号

会派名 公明党
代表者名 畑尻 宣長



下記のとおり、政務活動を実施したので報告します。

政務活動旅行報告書

令和 2年 1月 22日提出

活動年月日	令和 1年 5月 17日 (金)	
氏名	畑尻宣長	
用務先 及び 内容	1	用務先 愛媛県 松山市
	5月17日	内容 選挙クループロジェクトについて
	2	用務先 愛媛県 松山市
	5月17日	内容 子育て情報WEBサイト「カンガ(エ)ルーカフェ」について
	3	用務先
	月 日	内容
	4	用務先
	月 日	内容
備考		



政務活動調査報告書

調査日	令和元年5月17日(金)
視察場所	愛媛県 松山市
調査項目	選挙クループロジェクトについて
視察者名	畑尻宣長
市の概要	面積：429.40 km ² 人口：514,865人 人口密度：1,194.69人/km ² 世帯：244,348世帯 経常収支比率：89.8% 実質公債費比率：6.7%

<投票率向上への取り組み>

大きく3点を重点に取り組んでいます。

- ① 投票環境向上・・・全国初！大学構内に期日前投票所を設置
- ② 参画型の啓発・・・選挙コンシェルジュを認定、広報力強化
選挙クルーを認定、参画の輪を拡大
- ③ 主権者教育の充実・・・18歳選挙権に対応、主権者教育

<選挙コンシェルジュとは>

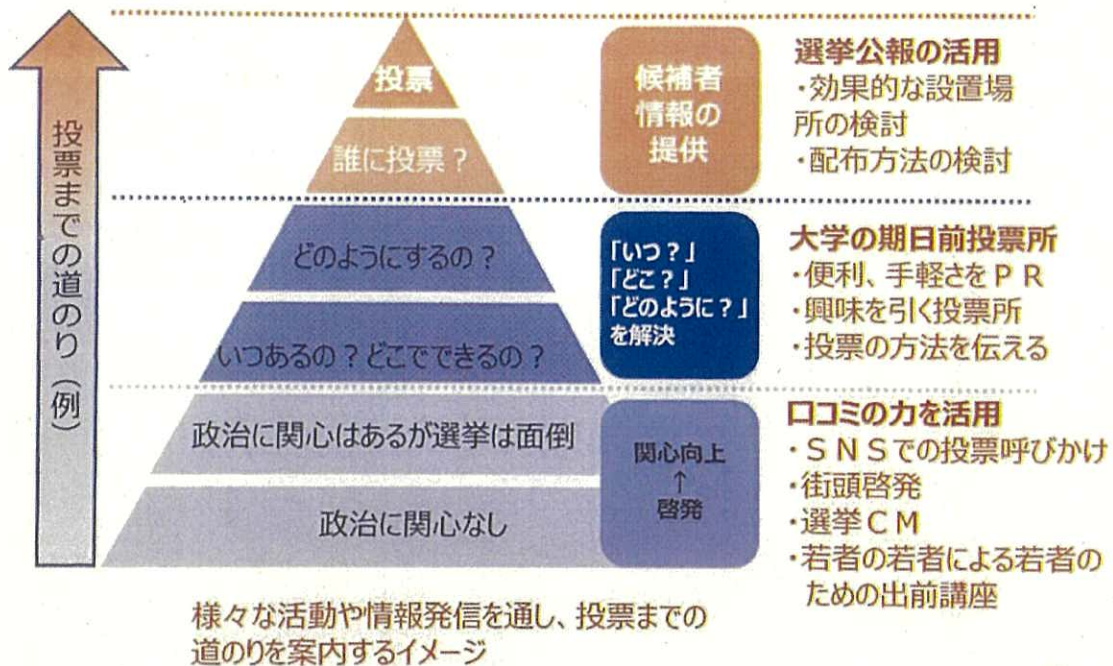
選挙啓発に熱意のある個人の集まりで、選管との定期的な企画会議や勉強会などを通して、選挙に関する高い知識と企画力を持った、いわば選挙啓発のセミプロです。

主な役割は、啓発イベントの企画立案や実施の統括・補助を主体的に行うことです。約30人体制で、支援団体である選挙クルーと連携しながら啓発を考えています。



選管×高校生×専門学生×大学生

【選挙コンシェルジュのイメージ】



10

「選挙クルーの支援により、企画の多様性と実行力を担保」

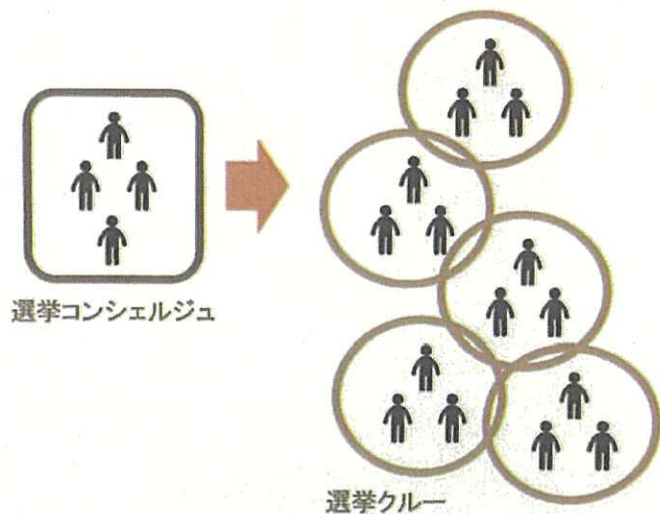
＜選挙クルーとは＞

選挙クルーとは、松山市の投票率向上プランに賛同してくれる団体で、団体内外への啓発の協力者です。

主な役割は、それぞれの強み・ネットワークを活かした啓発企画立案・補助です。

また、主権者教育の一部を代わりに行ってもらうことにより、多様な授業を行っています。

※「クルー」とは英語で舟などの乗船員 (Crew) を表します。コンシェルジュは、船頭という意味でも使われることから、投票率向上という目標に向かう船とともに乗船してくれる



仲間というイメージから「選挙クルー」と命名しました。

<選挙クルーが行う活動>

- ・団体内外への投票呼びかけ
- ・賛同していただいた団体への特典
- ・認定書の交付
- ・市選管 facebook での活動紹介
- ・街頭選挙啓発チラシへの団体名等の表示
- ・選挙啓発キャラクター「めいすいくん」 着ぐるみの貸出

※認定の条件

松山市内の学生のサークル、高校の部活動などのクラブ、若者が所属している NPO 法人・任意団体等の団体で、主に若者向けの活動をしている団体。

※ただし、以下の団体を除きます。

特定の政党・候補者のための政治活動を行う団体／宗教活動を行う団体／営利活動を目的とした団体

<選挙クルー・プロジェクトとは>

若年層を中心に低下する投票率…その問題を解決するために松山市選挙管理委員会では学生支援スタッフ「選挙コンシェルジュ」とともに若年層の投票率向上を狙った活動をしています。いいまちづくりのためには多くの方が投票し、そしていい政治が行われることが大事であると考えています。

そこで、松山市が行っている投票率向上への取り組みに賛同してくださるサークル等の団体を「選挙クルー」として認定し、組織内外への投票呼びかけを行ってもらうこと等を通じ、より多くの方に積極的に投票していただくことを目指すプロジェクトです。



主権者教育で意識を変える。

出前講座や模擬投票などで、選挙や政治を身近に感じてもらいます。
・平成27年度は約6,000人の高校生が受講。
・平成28年度は4月以降、9,000人を超える高校生が受講。

視覚・聴覚に訴える。

各学校の生徒がモデルとなった日めくりカレンダーと校内放送による啓発で選挙の啓蒙効果を盛り上げます。

初めての投票体験を皆で共有。

希望者を募り、最寄の期日前投票所に皆で投票に行く企画です。
選挙コンシェルジュが投票所まで案内し、投票方法などを伝えます。
※松山南高校、東富高校で実施

なんで、こうなるの!?



法律違反とは
知らなかった
のに...

お気軽すぎてアウト!!



○山O君に
あなたの1票
お願いします。

選挙期間中に電話で
投票依頼するアルバイトを
募集された。
時給が1,200円だ。
やっておようか?

お気軽すぎてアウト!!



大学生といえど、
新しい会コン。
得票も欲しいし、
その厚みで...

(選挙もやろうん!! 誰か?)

張り切りすぎてアウト!!



○山O子さん、がんばれー
みんな1票お願いします。

知っている好きせ
人が立候補した。
手持りホスターで
応援した。

<所感>・・・畑尻宣長

松山市の投票率向上を目的とした取り組みを視察させて頂きました。投票率向上でも若者に特化した施策を行っており、主権者意識をどのように向上させていくのか、大変参考になりました。

一つは、全国初となる大学構内に期日前投票所を設置したことです。これは、本市にとつても、大学があり、若者の投票率向上に向けた取り組みとしては、一番有効的であると思えました。

それを裏付けるかのように、その年の選挙では、松山市だけの取り組みでしたが、次に行われた選挙では、全国で98箇所が増えたことです。それは、18歳選挙権が導入されたこともあり、全国的に見ても有効的であると判断された結果だと感じました。現時点での本市の考え方は、大学に通う学生が市内

平成22年参院選との比較(選挙区)

投票率が向上した年代 ベスト5		
1位	20歳代前半	+4.22pt
2位	30歳代後半	+3.27pt
3位	40歳代後半	+3.16pt
4位	20歳代後半	+2.48pt
5位	50歳代後半	+2.05pt

※市全体の投票率は平成22年が52.59%、平成28年が54.14%

在住とは限らない為、投票率の向上には懐疑的であるということでした。また、期日前投票所を設置するにあたり、人的配置も増えること、場所的な問題もあり、大学側との協議も必要になってくることも、足枷になっているように感じました。そのあたりの理解が進むことにより、本市でも導入が確実に becoming と思っています。

二つ目の参画型の啓発を進める上での、選挙コンシェルジュの活用、さらには選挙クルーの認定の拡大で、啓発活動がより活発化していくことです。この活躍が投票率の低い若者の投票行動を促すことに一役かっていることとなります。ポイントは、選管との連携にあると感じました。この選挙コンシェルジュに参加する約30名の高校生、専門学生、大学生の学生たちに、セミプロと言われるくらいの知識を身につけてもらわないと、なにかと規制がある選挙に関することです。少し不安を感じました。しかし、そのあたりは、選挙コンシェルジュとして集まった学生たちは、意識も高く、自ら学んだりして企画、発案を選管の方に相談してくるということです。そのあたりの関りが、出来ていることで、行うイベントなどの公平性が担保されているのではないかと思います。

この選挙コンシェルジュが核となって、選挙クルーの団体が、さらに啓発活動を広げていくことで、より多くの若者が目にする、話を聞くということに繋がっていると思います。認定に関しても選管が目配りしていることもあり、能動的に活動してもらえるところが参加しています。

こういった取り組みが重なり合って、結果として、20代前半の投票率が確実に上がってきています。

三つ目の主権者教育に関しても、選挙コンシェルジュ、選挙クルーの協力のもと、出前講座をこの選挙クルーの団体が行っていたりします。選管主導の意識啓発講座より、いろいろ

工夫して選挙の大切さなど、投票行動に繋がるように訴えています。中には幼稚園に出向いての出前講座も好評のようで、子どもたちには、おもちゃの投票をしてもらうそうです。そこで、どれを選ぶか、どのおもちゃが好きか、など、子どもたちに伝え、ひとり一票を好きなおもちゃに投票してもらい、投票するという体験をってもらうそうです。そうやって、18歳からということにこだわらず、選挙コンシェルジュ、選挙クルーが、知恵を出し合っ
て、いわば選管のお手伝いをしているような感じです。

このような松山市の取り組みは、是非本市でも、取り組んでいくべきだと考えます。それは、選管の少ない人数では、選挙を行う事務だけで手一杯だと思うからです。そこを、しっかりとしたメンバーを募り、選挙コンシェルジュ、選挙クルーという団体にも参画して頂いて、岡崎市の若者の投票率向上に繋げていくべきであると、今後提案し進めていきたいと考えています。

以上

政務活動調査報告書

調査日	令和元年5月17日（金）
視察場所	愛媛県 松山市
調査項目	子育て情報 WEB サイト「カンガ(エ)ルーカフェ」について
視察者名	畑尻宣長
市の概要	面積：429.40 km ² 人口：514,865人 人口密度：1,194.69人/km ² 世帯：244,348世帯 経常収支比率：89.8% 実質公債費比率：6.7%

<カンガエルーカフェの特徴>

スマイリー ポッケ エール

※キャラクターの名前は一般公募により決定

<情報掲載の方法>

- ・ライフステージごとに情報を整理することで、閲覧者に必要な情報を届ける。
- ・スマートフォンに対応することでいつでもどこでも情報を得ることが出来る。
- ・ホーム画面は見やすさを重視。バナー等を使用し、その時々を知ってほしい情報をピックアップして掲載している。

<カンガエルーシアター・レポート>

- ・松山市内で行われたイベントの記事を掲載。
 - ・写真や動画と合わせてイベント内容の説明や主催者の思い、参加者の感想等を記事として公開。
 - ・年16回の取材を実施（取材は委託、プロのカメラマン）
- <次、行ってみようとなるような記事にしている>



<イベント情報の掲載>

- ・閲覧者は開催が近いイベントの情報を確認出来る。
- ・行政機関だけでなく、民間の団体が行うイベントの情報掲載も可能。
カンガルーカフェ内からイベント情報の投稿ができ、子育て支援課の審査後、サイト内に掲載。

<グッズの作成>

- ・チラシ ・ポスター ・クリアファイル
- ・ノート ・自由帳 ・トートバック 等
- ・児童館でのイベントや子育てイベントで配布し、サイトの周知を図っている。



<事業実施の効果>

- ・ライフステージ別の情報掲載により、必要な情報が簡単に手に入るようになった。
- ・カンガルーレポートやシアターでイベントの内容を知ることによって子育てひろばや児童館に興味をもってもらえた。
- ・イベント情報の掲載により、イベントへの参加人数が増加した。
- ・レビュー数は年々増加していることから、多くの人がサイトを利用している。

<サイトの運営体制や調整部署>

- ・運営体制・・・松山市に本社のある民間の業者に委託
- ・選定方法・・・コンペプロポーザル方式で決定（平成26年）
（翌年度以降は同じ業者に随意契約）
- ・調整部署・・・子育て支援課が取りまとめ、運営を行っている。
掲載情報のうち、経常的な情報については委託業者に依頼して修正を行っているが、イベント情報など随時更新する必要があるものについては、子育て支援課等でも更新が可能となっている。

<所感>・・・畑尻宣長

松山市が取り組んでいる子育て支援の中の情報発信という「カンガルーカフェ」について視察させて頂きました。子育て中のお母さんの不安を少しでも取り除こうと、様々なサービスがある中で、情報サイトを立ち上げました。このサイトに行けば、子育て支援に関する情報が、



一元化されており、窓口的な役割を担っています。本市では、現在、1人1人にメール配信する形で、お母さんのその時々合った情報を届けています。それは大変良い施策を行っていると思っています。しかし、それでは、一律に、子どもが生まれてから、1週目の情報、2週目の情報等、決まった情報が届くわけですので、すべてが子育て中のお母さんにマッチしているとは限らないと感じています。そこで、メール配信に加え、松山市が取り組んでいる「カンガエルーカフェ」のような、情報満載のサイトを立ち上げることで、その時々に必要な情報から、支援に関わるサービス情報、イベント情報等も目に触れると思います。そうすることでの、お母さんの孤立化も防止に繋がると思いますし、同じ思いのお母さんが集うイベントに参加してみようかとの後押しにもなると感じました。「次、来たくなるような記事」を、専門業者に委託している点も、民間の集客力がある力を利用し、魅力的に発信できる場所も活かしていると思いました。



この情報サイトが立ち上がった背景には、「子育てしやすいまちにするためにはどうしたらいいだろう?」「子育てをしている人が実際に困っていることはないだろうか?」「困っていることがあるとすれば、それはどんなことだろう?」という発想から考え出されました。なじみやすいキャラクターを設定し、我が物にするための、ネーミングの募集もひと工夫されていると思います。そういった経緯をみていると、子育て支援を側面から支援する重要な役割を担っていると思います。さらに、本市が子育てしやすい環境となるような取り組みであると思いますので、今後、さらなる充実を図る為の推進を訴えていきたいと思っています。

以上